

Contents

新年のご挨拶

院長 木村 健二郎

診療科のご紹介

最新医療機器のご紹介

3 テスラ MRI 装置



vol.74
2021.1

JCHOだより
うえーぶ
Wave



独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京高輪病院

医療連携・患者支援センター

〒108-8606 東京都港区高輪3丁目10番11号
TEL: 03-3443-9576 FAX: 03-3443-9570
<https://takanawa.jcho.go.jp/>

病院理念

心のこもった医療を安全に提供します。



新年のご挨拶

JCHO東京高輪病院 院長 木村 健二郎



明けましておめでとうございます。

令和3年のお正月をつつがなくお迎えのこととお慶び申し上げます。

当院は平成26年に「せんぽ東京高輪病院」から「独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO）東京高輪病院」へ改組され、本年で8年目となります。その間、病院をとりまく環境は大きく変わりました。政府は少子高齢化社会に対応すると同時に医療費を抑制するという2つの相反することを着実に進めつつあります。そのような環境の中、当院が提供する医療の在り方も変わることが地域から求められています。

この状況に対応するため、急性期機能のみだった病院機能に回復期機能を取り入れ、急性期病床144床、回復期病床（地域包括ケア病棟2棟）87床としました。異なる病床機能を組み合わせることにより、在宅で療養されている方や地域の急性期病院で急性期医療を終えた方を円滑に受け入れることが出来るようになりました。また、当院では急性期を脱した患者さんに地域包括ケア病棟へ速やかに転棟していただくことにより急性期医療は縮小することなく質も量も維持することができています。このように、当院は急性期機能と回復期機能の2つを柱に地域医療に貢献する体制を整えています。

昨年は中国武漢から全世界に新型コロナウイルスが蔓延し大変な年となりました。生活は一変し、さらに経済に対する打撃も深刻になりました。医療施設はこの新しい感染症への対応に追われ、通常診療にも大きな影響が出ました。当院では昨年8月末に院内クラスターが発生したために通常診療を縮小ないし中止せざるを得なくなりました。この時には、保健所をはじめ近隣の病院・クリニックに大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。お陰様で、現在はコロナウイルス感染症に対応しつつ通常診療を継続することが出来ています。本年はワクチンの接種も開始できそうですので、何とかこの新型コロナウイルス感染症が収束に向かい通常の生活と医療活動が取り戻せることを祈るばかりです。

当院はこれからも地域の皆様とともに地域の医療を発展させ安心して暮らせる地域作りに貢献してまいります。本年が皆様にとって良い年になることを心より願ってご挨拶とさせていただきます。



循環器内科

統括診療部長 山本雅人

2021年高輪病院循環器内科の循環器急性期診療と教育入院

いつも患者様のご紹介誠にありがとうございます。循環器内科部長の山本です。当科の診療につきご紹介いたします。

1. 急性期治療につきましては、①東京都CCUネットワーク加盟施設として急性冠症候群、安定冠症候群に対するカテーテル治療②徐脈性不整脈に対するベースメーカー植え込み術、末梢血管疾患に対するカテーテル治療③頻脈性不整脈に対する急性期薬物治療や電気的除細動④心不全に対する入院加療⑤弁膜症・感染性心内膜炎、肺動脈血栓症など、今まで以上に積極的に受け入れていきたいと考えています。心電図で判断に迷う症例については、SNSを用いた心電図相談も試験的に開始しました。
2. 増加しつつある心不全に関しての取り組みとして、今年から心不全の教育入院を始めます。心不全ガイドラインの心不全ステージB（心不全の発症前の器質的な心疾患のみ有する状態）の患者様を対象とします。具体的には、中等度以上の弁膜症や初回の心房細動、血清BNP > 100 - 200で明らかな臨床症状はありませんが今後心不全発症や増悪を繰り返すことが予想される患者様を対象とします。入院中には、心不全治療の基本となる様な食事指導・服薬指導・運動指導・内服薬の調整などを2泊3日程度で行います。昨年からのコロナ禍で日常診療も大変かとお察し致します。気持ちのよい医療連携を目指して精進して参りますので、本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



呼吸器内科

医師 鎌田勇樹



糖尿病・代謝内科

医師 糸井崇修

呼吸器内科の診療内容について

当科では閉塞性肺疾患、気管支喘息、慢性咳嗽、びまん性肺疾患、呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、呼吸器感染症、腫瘍、胸膜炎等呼吸器疾患全般の診療を行っております。

胸部レントゲンやCT等の画像検査、採血、気管支鏡検査などを行い、診断治療に結びつけます。

SAS（睡眠時無呼吸症候群）について

当院では夕方入院していただき、寝ている間に検査を行い翌朝退院していくだけですので、お仕事を休まずに検査を受けることが可能です。

当科の診療内容－糖尿病外来、糖尿病教育入院－

糖尿病外来では、診察前に血液・尿検査をお受け頂きます。診察時には当日の血糖、HbA1c、脂質、尿など必要な検査が判明しており、これに基づいて的確で迅速な指導や治療が可能となります。外来では管理栄養士による食事指導も併行してお受け頂けます。また糖尿病教育入院（血糖コントロール及び糖尿病合併症の精査）、糖尿病教室も行っており、必要に応じて外来での注射薬の導入も行っております。各分野のスタッフが協力して患者さんにより満足いただけるチーム医療の実践を心がけています。



消化器内科

部長 平野賢二



腎臓内科

医師 久道三佳子
医師 渡邊詩香

消化器内科の紹介－コロナ禍からの復活を目指します－

消化器内科部長の平野です。今年度は4、5月に緊急事態宣言に伴う受診激減、9月には院内クラスター発生による診療停止があり、その影響を消化器内科も大きく受けました。内視鏡件数や入院患者数は前年度を大きく下回って推移し、対外的なアピールの機会である「高輪肝胆膵フォーラム」もコロナ禍では中止せざるを得ませんでした。

10月以降は健診受診が好調なこともあって当科の実績も上向いてきました。消化管疾患、肝胆膵疾患、良性疾患、悪性疾患、患者の年齢を問わず、幅広く対応させていただいております。

昨年度末に退職者が多く出たため、今年度はややマンパワー不足に陥っていますが、来年度は医師補充の目途が立っており、現在中断中の胃癌ESD等も対応可能となります。引き続き東京高輪病院消化器内科をよろしくお願い申し上げます。

腎炎、ネフローゼ症候群等、腎生検をはじめとした精査・加療しますので、健診検尿異常を含め、尿蛋白や浮腫など是非ご紹介下さい。

高血圧診療では、二次性高血圧症の鑑別と高血圧性臟器障害の評価や食事療法を含めた生活習慣改善指導を行っています。また、24時間血圧測定も是非ご依頼頂けましたら先生方のご診療の参考にもなるかと存じます。

慢性腎臓病（CKD）は、腎障害の進行、透析を食い止めるだけでなく、心血管病（CVD）イベントの発症を予防することが大切です。各科と連携してCVDの進展予防に努めます。近い将来腎代替療法が必要となる患者様には腎不全外来にて十分に説明し、個々の希望や生活環境などを考慮して適切に療法選択し、計画導入を目指します。血液透析、腹膜透析は当院で施行しています。腎移植を希望される場合には、他施設をご紹介致します。是非腎不全外来・初診外来にご相談下さい。

AKI診療においては、適切な診断・治療はもちろん、AKIはCKD進展の、CKDはAKI発症のリスクとなることから、再発予防が重要です。退院後のフォローアップや、その後の先生方との併診を通じて、リスク抑制に努めます。

腎センター（人工透析室）では、17床のベッドを有し、外来通院透析、入院患者様の血液透析を行っています。他院で急性期治療が一段落した後のリハビリやご家族の休息などが必要な透析患者様の包括ケア入院も受け入れております。

地域の先生方にご指導頂きながら連携して地域に根差した診療を行って参る所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



感染症内科

医師 守山祐樹

感染症内科のお仕事

院内感染対策の仕事 新型コロナの影響で重要性が増してきました。マスクや手指消毒の徹底などを感染コントロールチームと一緒に推進して行きます。保健所と連携して仕事をします。

感染症コンサルテーション 様々な科の入院患者さんで感染症は発生します。感染症の治療で困っている先生から相談をうけ、一緒に診療をさせて頂きます。

抗菌薬の適正使用 薬剤耐性を増やすために、治療効果を最大限発揮するため、適切な抗菌薬を適切な量・期間で治療を行うお手伝いをします。

新型コロナ関連 新型コロナが疑われる患者さんや新型コロナと診断された患者さんの対応をしています。防護具を着用して、隔離された病棟で診療を行っています。



脳神経内科

部長 津本 学

脳神経内科外来について

外来診療は、完全予約制をとらせていただきます。

何かの時は、ご相談ください。皆様のご理解をお願い申し上げます。



外科

医長 黒川敏昭

外科の紹介をさせていただきます

—緊急対応が必要な患者さんは

24時間365日間受け入れる努力をしています

食道、胃、大腸肛門、肝胆脾臓などの消化器外科、乳腺・甲状腺外科、下肢静脈瘤を中心に行っています。中規模病院のメリットをいかし、消化器内科や他科と密接に連携し、小回りのきく、スピーディーな医療を心掛けています。胃癌および大腸癌、胆石症胆囊炎、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア手術においては腹腔鏡下手術を積極的に取り入れ、また、乳癌手術においては乳房温存手術を中心にすえて、手術侵襲の軽減と整容性の保持に努めています。



整形外科

部長 筋野 隆

整形外科は常勤医6名と非常勤医2名で外来診療、救急診療、入院診療を行っています。

当科の特徴の一つは手外科上肢外科の患者様が多いことです。肩関節疾患を専門とする医師も着任し、より広範囲の上肢疾患の患者さんに手術を含め専門治療が行える体制となっています。もう一つの特徴はスポーツ外傷膝変性疾患に対する治療が多いことで、多くの膝靭帯再建術や半月板損傷の患者さんをご紹介いただいている。膝関節を専門とする医師も増員さらに充実した治療が行えると考えています。

当院は中規模病院ですので、迅速な入院、早期の手術対応などフットワークが良く小回りが効くことを生かして大規模病院にはない患者様の満足が得られる診療を行い、地域医療に貢献したいと考えています。



脳神経外科

副院長・脳外科部長 日山博文

気兼ねなく脳外科にご紹介を

—新しいMR装置導入で脳画像の精度がアップしました—

脳疾患の診断に欠かせないMR装置が新しくなりより速くより鮮明に脳画像を得ることができます。特に発症早期の小さな脳梗塞の診断に役立っています。このため突然出現した呂律障害、半身の脱力や感覚異常、めまい、などの症状があれば気兼ねなく脳外科に患者さんを紹介してください。午前中の早い時間の受診ですとあまり待つことなく撮影できます。また慢性期脳疾患で在宅医療などを受けている患者さんが(レスパイトも含め)入院が必要になった場合地域包括ケア病棟あるいは急性病棟で受け入れを行っています。こちらも地域連携室に気兼ねなく問い合わせてください。現在脳外科のスタッフ(すべて専門医)とその特異分野は、日山(脳血管障害、脳腫瘍)、清水(脳血管障害、脊椎脊髄疾患)、田村(脳外科一般、定位的放射線治療)となっています。



泌尿器科

部長 石原 順就
医師 松崎香奈子

診療内容と特色

当院泌尿器科は、石原、松崎の2名で尿路系、男性性器系疾患全般の診療にあたっています。外来診療では、超音波検査、CT、MRIなどの充実した画像検査、また軟性膀胱鏡による患者さまに痛みの少ない検査を提供し、早期発見・早期治療に力をいれています。また前立腺がん精査、前立腺肥大症の内視鏡手術、膀胱がん内視鏡手術、体外衝撃波結石破碎術などの入院加療も行っています。包括ケア病棟へのレスパイト入院も積極的に受け入れておりますのでご相談いただけますと幸いです。



皮膚科

医師 白井真理子

診療科紹介

現在、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、にきび、皮膚真菌症などの一般的な疾患の難治例から、膠原病、薬疹、皮膚腫瘍に至るまで、皮膚疾患全般に対する診療を行っています。午前中は通常の診療を、午後は皮膚腫瘍などの外来小手術、腋窩多汗症に対するボトックス注射(保険診療)、金属バッヂテストなど時間を要する処置を行っています。特に最近は重症腋窩多汗症に対するお悩みでご相談にくる患者様が増えています。塩化アルミニウム、エクロック(保険適用)などの外用剤や、ボトックス注射まで患者様のお悩みに合わせて加療しています。また、重症の帯状疱疹、蜂窩織炎や薬疹などに対する入院加療を行っています。自費診療としては、男性型脱毛症の内服加療、シミに対する美白美容液の外用、ざ瘡に対してサリチル酸マクロゴールを使用したケミカルピーリング、ほくろに対してCO₂レーザーを使用した施術も行っています。

皮膚疾患はすぐに治るものだけではなく、慢性に経過し長期治療が必要な場合もあります。

悪化させる原因や、日常生活での工夫など、丁寧でわかりやすい説明を心掛け最適な治療をご提案できるよう努力してまいります。皮膚疾患でお悩みの方は是非ご相談ください。



眼科

部長 上 順子

明けましておめでとうございます。

私は2019年4月に当院に赴任しました。地域医療にいかに貢献できるかを考えていた矢先に、誰も予想していなかった事態が発生しました。COVID-19の感染拡大です。世界中が未知のウィルスにいかに立ち向かうか試行錯誤を続けました。当科も緊急事態宣言下では白内障手術を延期せざるを得ませんでした。自粛生活、リモート生活で、目の不調を自覚するような方々が多くなりました。6月以降は感染対策を取りながら、いかに通常の眼科診療を行うかが課題となりました。患者様の訴えに耳を傾けながらながら、手術を再開しました。皆様のご協力のおかげです。当科でも引き続き感染対策に留意して、診療、手術を継続していく所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



麻酔科

部長 斎藤勇一郎

麻酔科ではペインクリニック外来同様、神経ブロックを多用しています。手術麻酔でこれだけの種類の神経ブロックを多用している施設は少ないといえます。虎の門病院からも後期研修医の神経ブロック研修を定期的に依頼され、指導を行っております。超音波ガイド下の神経ブロックは病棟でも可能であり、術後痛の軽減にも寄与できる可能性があると思います。科に関わらず、鎮痛の手段としてご興味のある方はどうぞご連絡ください。



歯科口腔外科

部長 大橋 勝

「病院の歯科」は、その多くが口腔外科を専門とした診療科です。当院では、顎骨顔面領域の腫瘍や外傷、抜歯などの外科的治療、および口腔粘膜炎や顎関節症などの内科的治療を実施しています。すなわち地域歯科診療所の後方支援的な機能を担っています。しかし近年、もう一つの「機能」が発展しています。それは、口腔ケアと摂食嚥下機能療法を軸として他科や他職種と連携する歯科医療です。これは、誤嚥性肺炎防止、糖尿病など疾病の重症化防止、栄養摂取などさまざまな面から「病院の歯科」の責務と考えています。



AI技術搭載 3テスラMRI装置を導入しました

- 高精細な画像を、快適な検査環境で -

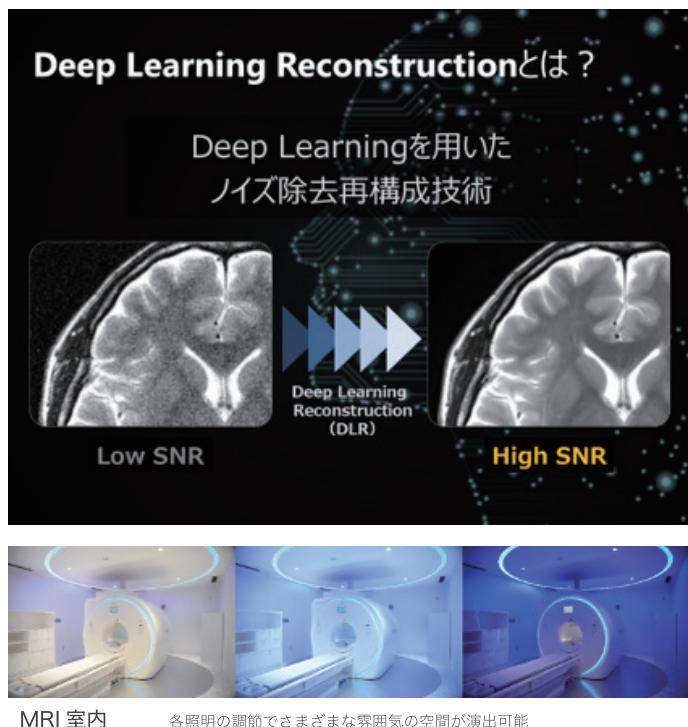
副診療放射線技師長

こたけ まなぶ 小竹 学

当院ではさまざまな臨床ニーズに応えるため、このたび最新鋭の3テスラMRI装置を導入致しました。この装置は**世界初のディープラーニングによる画像再構成技術『Advanced intelligent Clear-IQ Engine (AiCE)』**を搭載した3テスラ装置であり、従来の1.5テスラMRIはもちろん、他の3テスラ装置に比べても高精細な画像を全身において高速に取得できます。

AiCE はディープラーニングを用いてノイズ成分を学習させたネットワークを構築し、それをノイズ除去に応用了した画像再構成技術（Deep Learning Reconstruction）です。各種高速撮像技術と組み合わせて使用可能ですので、**高精細と撮像時間という MRI のトレードオフを克服した検査が可能になります。**

ルーチンの検査枠を圧迫することなく画質が向上することで、従来ではみえなかった細かな組織構造や早期の微細な変性をとらえやすくなるほか、撮像時間短縮のほうへ条件を組むこともできるため、患者さんの負担を軽減できるというメリットがあります。



- 放射線検査予約 紹介元の先生・スタッフよりご連絡ください**

 - ① 地域連携係までお電話ください。(直通TEL:03-3443-9576)
▼
 - ② その場ですぐに放射線科へお繋ぎし、検査日をお取りいたします。
▼
 - ③ FAX予約診療受付票兼案内表にご記入の上、
地域連携係までFAX(03-3443-9570)をお願いいたします。
事前にカルテを作成し、お待ちいただけます。

※ FAX予約診療受付票兼案内表はホームページよりダウンロードまたは地域連携係までお尋ねください。



さらに今回の装置導入では、より患者様へ快適に検査を受けていただくために MRI 室の内装も大幅にリニューアル致しました。高輪という土地が醸し出す雰囲気にマッチした青と白を基調としたデザインに加え、**映像をみながら検査を受けられる「MR シアター」**、従来 1.5 テスラ装置よりも一回り大きくなった**患者開口径 710mm**と併せて、**圧迫感を極限まで低減した快適な検査環境**を提供します。

東京高輪病院では、今後とも地域の先生方にお役にたて
るような臨床画像、画像診断を提供できるよう努めてまい
りますので、よろしくお願ひ致します。

ご意見ご要望などありましたら、お気軽にお寄せください。

検査日が直接予約できる放射線検査名	
放射線検査 ※造影検査は 同意書も必要	MRI検査：単純MRI、MRA、 MRCP 造影MRI、MRA
	CT検査：単純CT、造影CT、CTA、 3DCT
	核医学検査（シンチグラフィー）： ガリウムシンチ、タリウムシンチ、 骨シンチ、心筋血流シンチ、脳血流 シンチ、肺換気血流シンチ、甲状腺 シンチ、出血シンチ、腎血流シンチ、 肝脾シンチ、RIアンギオグラフィー
	マンモグラフィー検査
骨密度検査	